

多様な主体による連携・協働

(資料編 P52)

豊島区の現状

● 地域に広がる環境ムーブメント

豊島区では、環境に配慮した暮らしをしている区民をはじめ、企業、大学、商店街、NPO などのさまざまな主体によって、緑化や太陽光発電、LED 照明導入などの環境配慮行動の実践が広がっています。

環境問題の解決には、このような一人ひとりの取組みが不可欠です。それぞれの取組みが、他の主体と連携・協働することでより大きな動きに発展しつつあります。

● 次世代を担う子どもたちに向けて

環境問題は、遠い将来の話ではなく、現在の日常生活と密接なかかわりを持っています。次世代を担う子どもたちがこのことに気づき、学ぶことは、持続可能な社会を形成していく上で重要なことです。

そのため、区では、区民や地域団体との連携・協働により、子どもを対象とした環境教育事業を実施しています。また、小中学校においても、社会科や理科、総合的な学習の時間等において環境教育に取り組む動きが出てきています。

主な施策の実施状況

● 「グリーンとしま」再生プロジェクト

平成 21 年度から始まった「グリーンとしま」再生プロジェクトでは、区民、地域活動団体、企業等からなる実行委員会のもと、今年も様々な緑化活動を行いました。



◆ 「いのちの森」の植樹

緑豊かな地域の再生と、地域に住む人々を守る「いのちの森」をつくるため、電車に見える公園ほか 7 か所に、地域植生の特性にあった常緑樹等を植樹しました。また、民有地に広げる展開として、いのちの森づくりで植栽している苗を 1,322 本配付しました。

植樹本数	植樹面積	参加者数
3,753 本	525 m ²	1,119 名

◆育樹活動

「学校の森」の植樹から3年、区施設への「いのちの森」の植樹から2年、植えた苗木は順調に育っています。その中でつる性の植物が繁茂し、苗木に覆いかぶさり、生長を遅らせている植栽地があります。こうした植栽地で地域の方とともに、6月と10月につる性植物を除去する育樹活動を実施しました。除草後は苗木にも日差しが十分に当たるようになり、今後の木々の生長が期待されます。

育樹施設	参加者数
6 施設	56 名



育樹活動

● 環境学習講座「こどもエコ体験隊」

環境保全行動に取り組む人材育成を目的として、小学生と保護者を対象に、身近な地域環境から地球規模の環境問題まで幅広く学ぶ、参加・体験型の環境学習講座を実施しています。区民、企業、NPO 団体など様々な立場の方が講師となり、農園体験や木材を使った工作づくりなど、子どもたちが楽しみながら学べる内容となっています。

平成24年度は、計5講座を実施し、延べ299名が参加しました。

回数	内容
全3回中 2,3回目	農園体験・じゃがいもを育てよう！ (1回目は23年度に実施済)
全3回	農園体験・だいこんを育てよう！
全1回	みどりの森をたんけんしよう！
全1回	里山体験をしよう！
全1回	水族館の裏側を探検しよう！



「農園体験・だいこんを育てよう！」で収穫されただいこん

● 環境授業

「学校の森」植樹をきっかけに、小中学校における環境教育の取組みがさかんになってきています。

平成24年度には、校庭や地域の自然観察や、プールにいるヤゴ等の水生生物の生態を学ぶ授業、世界各国で使われている子ども向けの環境学習教材「キッズISO14000プログラム」による授業など、各学校の特性に合わせた環境授業を実施しました。これらの授業を行うための、様々な分野の専門家を派遣し、各学校の環境教育を支援しています。



校庭の自然観察（長崎小学校）

	実績
環境授業 支援校	10校

● としまエコライフフェア

「としまエコライフフェア」は、区で行っている環境関連イベントの中でも最大規模のものです。平成24年度は、区民一人ひとりがエコライフを意識することにより、将来の子どもたちのために、より良い豊島の景色にしていきたいという気持ちを込めて「エコライフ FOR としま」をテーマに設定しました。また、環境に対する多くの気づきがあった昨年から、実際に行動に移すことを目指し「あなたの一歩が、未来を変える」をサブテーマに、24団体の参加のもと、8月に開催し、467名が来場しました。

またこのフェアを通じて生まれた参加団体間のコミュニケーションは、フェアに限らず様々な事業を展開する際に大きな効果をもたらすことが期待されます。



実施日	参加者数
8月4日	467名

● 環境情報誌「エコのわ」

「エコのわ」は、区が発行する環境情報誌です。「日常生活から地球環境を見直す」という視点に立ち、環境に配慮した暮らしや、それを実現する方法などをわかりやすく伝えることにより、区民の生活スタイルの転換を図ることを目的として発行しています。区民ボランティアの方と区の職員と一緒に企画・編集・取材を行い、誌面を作成しています。



	実績
発行	年 2 回
部数	年間 34,000 部
内容	快適さのヒミツ「体感原理」 ひろがる豊島区の自然再生の「わ」 ほか

● 地域の環境活動支援

池袋・西池袋エリアが、公益財団法人東京都公園協会の「まちなか緑化事業」のモデル地区に選ばれ、緑の体感原理を学び、それぞれの思いを形にする話し合いを重ねることで、様々な主体の皆さんが自発的に緑を増やし、素敵なまちにしていこうという動きが広がりつつあります。平成 22 年度からの最終年度で、計 23 か所の植栽により心地よい通りの緑がつながり始めました。

実施日	内容
6 月	植栽施工 6 か所
10 月 14 日	都市緑化フェア・池袋サテライト会場まち歩きツアー
12 月 6 日	共同管理検討会
3 月 2 日	成果共有会・緑のお手入れ講座 池袋緑を育む会発足



通りの緑がつながり始めた池袋四丁目の様子

今後の取組み

● グリーンとしま再生プロジェクト

新設される区立公園への植樹や、多様な手法による民有地の緑化が広がるよう「グリーンとしま再生プロジェクト」実行委員会を基盤に、地域の実状にあったコミュニティの形成を通じて、「いのちの森」をはじめ緑を大切にする機運を高めていきます。

また、緑に集まる野鳥や昆虫など生物多様性の保全も視野に入れ、地域の皆さんとともに緑豊かな四季を感じられるまちづくりを目指します。

